

平成28年度 第3回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

1. 日 時

平成28年8月3日（水） 午後1時30分から午後2時

2. 場 所

下関市立市民病院 2階 講堂

3. 次 第

- (1) 開会
- (2) 議題
- (3) その他
- (4) 閉会

4. 配布資料

- ・平成27事業年度に係る業務実績に関する評価結果（案）

5. 議事録（概要） ※次頁以降

平成28年度第3回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

議事概要

1. 開催日時

平成28年8月3日（水）13時30分～14時00分

2. 開催場所

下関市立市民病院2階講堂

3. 出席者

- ・ 下関市立市民病院評価委員会
弘山委員長、飯野委員、園田委員、佐々木委員
- ・ 下関市立市民病院
上野副理事長、池永理事、吉田事務部長 ほか5名
- ・ 下関市
大崎市民部長、中村市民部次長、尾和病院管理課長 ほか2名

4. 内容

(1) 平成27事業年度の業務実績に関する評価について

- ・ 平成27事業年度に係る業務実績に関する評価結果（案）の構成、小項目評価、大項目評価、全体評価の内容について事務局から説明

【小項目評価】について 《委員全員、異議なし》

【大項目評価】について 《委員全員、異議なし》

【全体評価】について 《委員全員、異議なし》

- ・ 全体を通しての質疑応答・意見等（○委員発言 ●法人発言）

○地域医療支援病院の承認など黒字化になる構造となるよう積極的に取り組んでほしい。努力されている項目は評価しているが、最終的には利益を生んでいるかが評価の基準となるため、財務状況を早急に改善していただきたい。

○病院の規模からすると2,200万円の赤字は少しの努力で変えられる額であり、地域医療支援病院などの制度を整えてからの診療の売上

を見たい。新入院患者数が減っているのは気になるが、新患の患者数が増えないと診療は儲からないようになっており、さらに紹介率を上げて外来の新患の患者数が増えていくとよい。

○材料費が気になるところだが、例えば薬の購入の仕方は？赤字なのでしっかり取り組んでほしい。

●診療材料はSPDにより一括して購入しており、他の病院との単価の比較も考慮して納入しているが、手術や化学療法など抗がん剤の治療が増えたことにより、収入も増えているが材料費も増えている状況である。薬は、納入業者を6社から3社に減らして安く納入できるようにしている。

・法人の意見等

●法人の自己評価と評価委員会の評価が同じで良かった。昨年度は病院内の仕組みをしっかりとさせることに注力し、例として病院機能評価を受審したことによって、医療の質が上がり次の発展に繋がっていくと考えている。指摘があったようにこれからも加算を積極的に取りに行く努力を続けていきたい。

・評価結果は原案どおりに確定し、後日、評価委員会を代表して委員長から市長に報告することとし、委員全員が了承

(2) その他

- ・平成27事業年度に係る評価結果、並びに法人から提出された財務諸表について、今後の予定（議会への報告等）を事務局から説明
- ・次回の評価委員会では、第1期中期目標期間に係る業務実績に関する評価について審議する旨を説明し、資料を事前に配布